

子供たちへの環境教育は大切であり、
今後の社会にとって意義があると思う。

▶ P32 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開

2. 九州ふるさとの森づくり

「九州ふるさとの森づくり」は、当社創立50周年を記念して2001年度から取り組んでいる植樹・育林(下草刈)活動であり、低炭素社会実現への寄与や生物多様性の保全を目的として九州各地で展開しています。2014年度は、約3,600名の皆さまのご協力により、9か所でボランティアによる植樹・育林活動などを実施しました。

なお、これまでの14年間でおよそ117万本を植樹し、延べ約15万人の方々にご参加いただきました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照)▶九州ふるさとの森づくり

活動実績(2014年度)

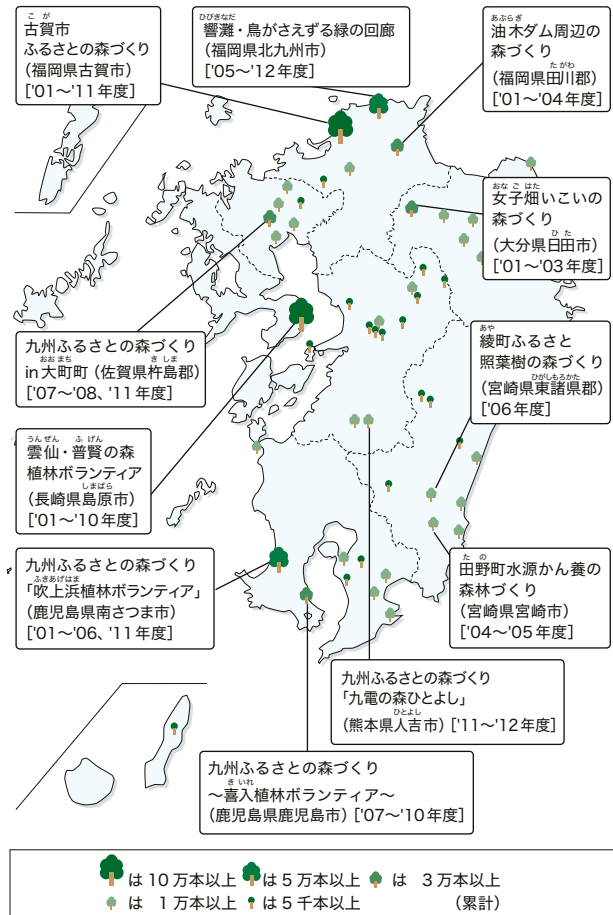
	地区	計画名	参加者数(人)
植樹活動※	北九州	ひびきなだ響灘・鳥がさえずる緑の回廊 第10回植樹会	1,540
	福岡	森と海の再生交流事業 植樹祭	220
育林活動	佐賀	「ふるさとの森づくりin大町町」育樹作業	190
	その他	「古賀市ふるさとの森づくり(福岡)」など、九州各地6か所で下草刈を実施	1,670
合計	9か所 (植樹2か所、育林活動7か所)		3,620

※当社からは苗木提供せず、社員によるボランティア参加のみ



森と海の再生交流事業植樹祭の様子

これまでの主な植樹箇所



■ その土地本来の樹種による密植・混植を基本とした森づくり

その土地本来の森は、豊かな生物多様性を維持し、水源涵養、土砂災害の防止、保健休養の場の提供など、様々な公益的機能を果たしています。「九州ふるさとの森づくり」では、将来的に人の手があまりかからない、九州の自然植生であるシイ・タブ・カシ類を中心とした、その土地本来の樹種による森づくりを行っています。

また、より早く、その土地本来の森が形成されるように、密植(1㎡あたり2~3本程度植樹)・混植(複数の樹種の組み合わせ)を基本とする植樹に取り組んでいます。この方法を採用した植樹地の多くが、密植・混植を行わなかった箇所以上の生

育を見せており、年を経るにつれ、その効果が現れています。



植樹時



13年後(古賀市ふるさとの森づくり(福岡県古賀市))

用語集をご覧ください

>>ステークホルダー
>>低炭素社会

>>生物多様性
>>水源涵養